



# ワタシ キニナル



design/manabu.yamauchi



# 目次

すこしさみしい春の訪れ . . . . .	1
リアカーけんどってナニ?? . . . . .	3





## すこしさみしい春の訪れ

こんにちは！ 98ttiii です。今年（2020年）は暖冬小雪の年明けではじまり、春の訪れも例年より前倒しになるのだらうと思っていたら、新型コロナウイルスの感染拡大により、首都圏のみならず全国に緊急事態宣言が発令され、大混乱の春となりました。青森県を代表するさくらまつりといえば弘前市の「弘前さくらまつり」ですが、中止となり弘前公園内に至る全ての出入り口がバリケードで塞がれ城門も閉ざされました。弘前市のお隣にある平川市も例外ではなく猿賀公園でも4月10日から5月6日まで園内の一部が封鎖されました。感染を防ぐ意味でずっと家に籠っていましたがさすがに気が滅入るので、三密を避けられそうな時間帯を選んで猿賀神社まで散歩。神社の隣は猿賀公園の蓮池で有名な鏡ヶ池と繋がっていますが、池の東側エリアは散策禁止。そるか荘の目の前にある散策道入り口にも立入禁止の看板があり入り口が塞がれておりました。こんな光景を目にすることになるだなんて想像もしていませんでした。5月に入り全国に出されていた緊急事態宣言が解除されつつあり、猿賀公園も現在は散策可能となっておりますが、コロナウイルスの収束宣言が出されるまでは気を抜けないなと感じています。一刻も早い収束を願うのみです。



猿賀公園中止看板.jpg

## リアカーけんどってナニ??

平川市に引っ越して間もなく1年が経ちます。平川市民として暮らしてみると自分の地元では見かけないものに遭遇することがあり「え～、何コレ? キニナル」というものがあふれてきました。今回は以前より気になっていた箇所を紹介。

「リアカーけんど」猿賀神社の鳥居そばにリアカーけんどがあると知り散策してみました。「けんど」とは津軽弁で「道路」を意味します。名前の通りリアカーが通れような道幅の狭い道路のことだそう。昔はこのようリアカーけんどが各地区にたくさんあったようです。猿賀神社の大鳥居をくぐって参道を歩き、2つめの鳥居の右側に朱色のひと際目立つ楼門があります。ここは蓮乗院というお寺。歴史は古く延暦12年(793年)開創と寺伝には伝えられているそうです。この楼門の向い側にリアカーけんどがありました。道幅は2mもないほどで道の両側はサワラの生け垣がまっすぐ奥まで続いています。途中、個人のお宅のお庭なども見え季節の花が植えられています。道の奥まで歩いても200mほどの短い道路。猿賀神社参拝後や猿賀公園の散策の際にふらりと立ち寄れる場所でした。



蓮乗院楼門





---

ワタシキニナル～vol.2

---

版番号の予定

{{-  
-}}

著 者 書籍情報の編集ページから、著者情報を入力してください

制 作 Puboo  
発行所 デザインエッグ株式会社

---